

## 令和5年度 事業計画

### I 基本方針

新型コロナウイルス感染症が少し弱まり、コロナ前の社会生活・経済活動が戻りつつあるところでもあります。

総務省統計局の人口推計による我が国の令和4年9月15日現在の総人口は1億2,471万人となり、前年に比べ82万人減少しましたが、65歳以上の高齢者人口は6万人増加し3,627万人(高齢化率29.1%)となり、人口の高齢化はますます進行しております。こうした中、高齢者雇用安定法の改正等、定年後も引き続き60歳代の者が就労できる環境整備が進み、同局の労働力調査によれば、令和4年の65歳以上の高齢者の就業者数は912万人、就業率は25.2%となりました。こうした傾向は、これまで高齢者の働き方に大きな役割を示していたシルバー人材センター(以下「センター」という。)にも大きな影響を与えており、会員の入会年齢や平均年齢は年々上昇しています。

愛西市シルバー人材センターにおきましても同様の現象があり、新規入会者が少なく、会員数は減少の一途で、業務を賄いきれず例年の発注をお断りせざるを得ないこともありました。令和5年度につきましては、会員増加(特に女性)を主眼に多岐にわたる受注業務の発掘に力を注ぎ、活力あるセンターの構築に尽力いたします。

なお、昨今の諸物価高騰及び本年10月に施行されるインボイス制度に対応すべく事務費を8%から10%にさせていただきますが、これまで以上に地域に根差した地域の要望に的確に応えられるセンター目指し、次のような事業に尽力してまいります。